

序論

私はグローバル探究の2年時に「グローバルが生み出す力」のゼミに入ることに決めました。調べたいことが決まっていた訳ではなく、グローバルという広い視野で探究をしてみたいと思ったからです。私は、世界中のみんなが幸せだったら良いなと思うことがあります。これは少し身勝手な願いで、直接関わった人の幸せさえも願うことができない余裕のない時期もありました。しかし、今まで実際に関わってきた人、小説や映画などのキャラクターとの間接的な出会いがある中で、根からの悪人はいないと確信しました。一見悪い行為に見えてしまうようなことでも、そこから何かを学ばせてもらえることがよくあります。

本論

ここで、SDGsの第一課題「貧困をなくそう」に注目していきたいと思います。SDGsの課題は全て思いやりが詰まっているので、全ての課題に取り組んでみたかったのですが、最も基盤になりそうなものに的を絞りたいと思います。なぜなら、お金は物質の中でも特に強いエネルギーを持っているし、多くの人が必要なことに使いたい分だけ使うことは、みんなが幸せになるための大きな第一歩になると考えたからです。次に、どうすれば全ての人が必要なものに使いたいだけエネルギーを注ぐことができるだろうかと考えた結果、ベーシックインカムという方法が最適であると考えました。これは、現在進行形で検討されていて、貧困がなくなるという意味では最も確実性があると思います。しかし、この方法を試すとどうしても社会主義という形になってしまい、人々が働くモチベーションがなくなってしまうのではないだろうか少し懸念しています。自分が社会の役に立っているという自信は生きる自信を与えてくれます。また、お金を稼ぐというのは、自分が人を喜ばせた分だけエネルギーが入ってくるという理にかなった良い仕組みになっています。ベーシックインカムを導入した上で、お金というエネルギーをそれ以上に必要とする人は、その分だけ働ける環境があるといいなと思いました。しかし、ベーシックインカムになる頃には今とはまるっきり仕事の概念が変わっている気がするのでなんとも言えません。貧困を解消させるという意味では、ベーシックインカムという制度は効果的であると感じます。次に、貧困問題が起きてしまう原因について考えてみました。発展途上国などの未発達な国だけでなく、日本でさえも貧困問題は起きています。これはなぜでしょうか。原因の一つとして、今の日本では生活保護だけでは十分に生きていけないだろうと考えます。私はよく、駅の前でお金を入れてもらうのを待つずっと座り込んでいる人を見ます。そこまで極端でなくとも、大学に行くために多額の奨学金を必要とする人は多数います

結論

学歴社会は少しずつ変わりつつありますが、今現在は就職や起業する際に学歴が見られることがよくあります。これを例にして、世界的にも裕福な家に産まれたら裕福、貧困の家に産まれたら貧困のままということが多いです。ある程度の差異が出来てしまうのは当然ですが、ベーシックインカムと資本主義をうまく混ぜることで、貧困がなくなり、お金のエネルギー循環もうまくいくと思います。また、心の貧困がお金の貧困につながるがよく起きます。心が不足した状態であると、判断がうまくいかず必要のないものまで買ってしまったり浪費につながります。そのため、心を満たすことで浪費もなくなり、お金が十分にあることに気づき、貧困がなくなると思います。この課題を達成するために、まず私が行動したいと思います。卒論の場を利用して、自分の考えを書くことが出来たのは一つ行動であるし、ここに述べたことを口だけに留めず、実行していく必要があると思います。世界から貧困をなくすために、私もお金の使い方を見直す必要があります。自分の心が本当に喜ぶ使い方をしてこれから生きていきたいと思います。